

コンサートのお知らせ

いやしの時間～国産材楽器のしらべ～



5月11日(水)

15:00～16:30

入場
無料

桜ノ宮合同庁舎1階 ^{もり}森林のギャラリー
(近畿中国森林管理局)



畑下マユ
(ギター演奏)



みつゆき
(アイリッシュハープ演奏)



- 15:00～ ギター用材の説明 (京都大学 村田功二)
- 15:15～15:45 歌&ギター演奏(畑下マユ)
- 15:45～ シラカバ材およびハープ用材の説明
- 16:00～16:30 ハープ演奏(みつゆき)

「所さんの目がテン！」
かがくの里
里山材ギターを
使用します



※今回使用する楽器材料：シラカバ、ホオノキ、シラカシ、ヤマザクラ等

主催：(公社)日本木材加工技術協会 関西支部

コンサート開催目的

5/11(水)～6/8(水)の間、森林のギャラリーでの「里山の再生に貢献する木材利用」の展示にあわせて、これまで楽器用材として使われてこなかった国産広葉樹材の楽器で演奏会を行い、国産材の良さや可能性をお伝えします。

展示（5/11～6/8）のご案内



日本木材加工技術協会
関西支部
Webサイト

「里山の再生に貢献する木材利用」

かつては生活資材や燃料の供給源であった里山林も活用されなくなつて数十年が過ぎました。比較的短期間で伐採されていた雑木林も大径化しました。里山林が管理されなくなり奥山化が進んで、かつての里山の生態系が変化し、さらに獣害の問題が生じてきました。これからは、里山の生態系を回復し、持続的な循環的資源利用を続けることが必要であると考えます。大径化した雑木林は有用広葉樹資源の可能性を秘めています。当協会では、里山環境を評価・管理しつつ、家具や内装材、楽器など付加価値の高い商品開発を試みます。そうして里山材の活用を進めることで、持続性のある里山環境を実現したいと考えます。

本展示では、昨年実施した早生植林材研究会シンポジウム「生物多様性と里山の管理・活用」の内容を紹介し、里山広葉樹材活用の成果を紹介します。また、国産広葉樹活用プロジェクト(代表:黒田慶子氏)の活動を紹介し、里山材を活用した製品(家具など)を展示します。

もり

森林のギャラリーとは



森林のギャラリー
webサイト

近畿中国森林管理局では、庁舎1階を「農林水産業等の情報発信基地」として位置づけ開放するとともに、国民の皆様へ「森林の保全・整備及び利用の促進、農林水産業、農山漁村及び中山間地域等の振興」に関する展示を約1か月ごとに入れ替え、情報提供を行っています。

所在地: 大阪市北区天満橋1-8-75 JR大阪環状線桜ノ宮駅から徒歩5分